

PRESS RELEASE プレスリリース

フレッシュプリントコンソーシアム発足

株式会社吉田印刷所（代表取締役社長：吉田和久）と、日本アグファ・ゲバルト株式会社（代表取締役社長：松石浩行）は、「世界一ムダの無い印刷」のコンセプトの基、印刷会社の単なるコスト削減だけではなく、印刷物のユーザーにとっても印刷物がムダにならない仕組みをつくることで、新たな印刷需要を喚起し、大きなマーケットを創造すべく「フレッシュプリントコンソーシアム」を発足しました。

吉田印刷所ではこれまで数々の画期的な発想と、最高峰の技術力をもって、業界に変革をもたらしてきました。常に自社技術を研鑽し続けることで高い技術に裏打ちされた独自商品と、差別化したコンセプトによって、新たな市場を開拓開発してきました。その集大成とも言えるのが、このたびの「世界で一番ムダの無い印刷会社を目指して」というコンセプト「フレッシュプリント」です。

吉田印刷所の吉田社長は「私たちの掲げる“世界で一番ムダの無い印刷会社”とは、我々印刷会社の製造環境だけでなく、お客様の手元に届いた印刷物がムダなく効果的に使われるという意味を含んでいます。ムダの無い工場で印刷物を製造し、ムダ無く使用されるお客様があつてこそ“世界で1番ムダの無い印刷会社”となれるのです。」と述べています。

そのためには単なる自社のコスト削減だけではなく、お客様にも印刷物のムダを出させないためのソリューションの構築と情報共有が不可欠です。

余裕を得るために生まれるムダを止める、ムダを利益に変える5つのソリューション

1. 究極の営業ツール 直せるカタログ
2. 大量一括発注から 少量分割発注
3. 分割した数だけ 支払いも分割清算
4. 全体最適が生ま出す 複合的価値連鎖
5. 厚くて重いカタログは 中身を分割

この必要な部数だけを分けて印刷する小口分割印刷がすなわち「フレッシュプリント」です。

フレッシュプリントの確立には、水を極限まで絞って印刷する「乾燥促進印刷」が無くてならない仕組みです。乾燥促進印刷で水を極限まで絞って印刷することで、紙の変形や過乳化によるインキの劣化を限りなく軽減する事が可能になり、高品質な印刷物を安定的に供給できます。そして、この水を絞った印刷をするのに最適なプレートがアグファの現像レスプレート「アズーラ」です。

乾燥促進印刷は印刷の基本であり、これからも磨き続ける必要があるのです。

印刷をしない時間がムダを省く

吉田印刷所では機械の稼働率を下げてもメンテナンスを行うことで、機器の安定稼働を優先しています。常に安定した設備環境により、ムダの無い必要最小限の資材と時間で印刷が可能となり、フレッシュプリントを支えています。

PRESS RELEASE プレスリリース

最適を知るシステム構築がムダをなくす

「フレッシュプリント」のコンセプトを全国の印刷を必要としているお客様に理解して頂くためには、印刷会社が一丸となって、総合的にムダを出さない印刷物を啓蒙する必要があります。印刷業界のできるだけ多くの方々に、このコンセプトに賛同して頂き、大きなうねりにしなくてはなりません。そこで吉田社長の呼びかけにより、吉田印刷所とフレッシュプリント確立の一翼を担う日本アグファ・ゲバルトはこのたび「フレッシュプリントコンソーシアム」を発足するに至りました。

日本アグファ・ゲバルトの松石社長は「吉田社長からこのお話を伺ったとき、単なる自社のコスト削減、利益増大ではない、印刷業界そのものを変えて新たな市場を創造するというお考えに感銘を受け、勇気付けられました。そして弊社のプレートがそのお役に立てることは大変な光栄です。」と述べています。

フレッシュプリントコンセプトは乾燥促進を極めることにより、今までは不可能とされていた、薄紙印刷や、PODとの共存による超小ロット印刷までも可能とし、それによって印刷の概念・可能性を大きく広げ、顧客に喜ばれる新たな市場の開拓をすることになります。

多くの印刷会社の皆様に「印刷会社とクライアントが共にムダの最小限化を図り、印刷物の最終利用者に喜ばれる仕組みづくりに繋げる」という本コンソーシアムの趣旨をぜひ理解頂き、賛同頂ける皆様には、コンソーシアムにご参加頂き、ぜひともそのノウハウを習得していただければと思います。

■フレッシュプリントコンソーシアム

発足： 2016年8月4日

活動内容： 総合的にムダを出さない新しい印刷物の普及・啓蒙

顧客に喜ばれる新たな市場の開拓

乾燥促進印刷推進

印刷機メンテナンストレーニング

事務局： 日本アグファ・ゲバルト株式会社内

電話 03-6420-2010

このプレスリリースに関するお問い合わせ先：
日本アグファ・ゲバルト株式会社 グラフィック システム事業部
マーケティングコミュニケーション部 和田 祐実子
電話：03 (6420) 2010 FAX：03 (6420) 2011